



こと言の葉 kotonoha

築館高等学校 図書館だより
発行: 令和4年6月8日
文責: 司書 佐藤

6月になりました。雨が多くなるこの季節は読書がびったりです！ゆっくり読んでみたかった本や最近映像化された本など、気になっている本をぜひ手に取ってみてください。

6・7月の展示は 新潮社の 高校生に読んでほしい50冊

3000点の新潮文庫の中から、若い世代が新たに読書に親しんでいく際の指針となる作品を編集部が選定！「泣」・「考」・「恋」・「驚」・「熱」の5つの感情で選定された50冊が紹介されています。

★図書館前ホールではそのなかから、各5冊を展示します

「せんせい。」 重松 清
「ツナグ」 辻村 深月
「コンビニ兄弟」 町田 そのこ
「塩狩峠」 三浦 綾子
「今夜、もし僕が死ななければ」 浅原 ナオト



「くまちゃん」 角田 光代
「三四郎」 夏目 漱石
「四畳半王国見聞録」 森見 登美彦
「か」「く」「し」「ご」と」 住野 よる
「ぼくは勉強ができない」 山田 詠美

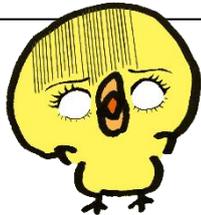


「黒い雨」 井伏 鱒二
『日本の伝統』の正体 藤井 青銅
「受験脳の作り方」 池谷 裕二
「暇と退屈の倫理学」 國分 功一郎
「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」
ブレディみかこ



「高校生に読んでほしい50冊」の冊子を配布します。
朝読書や読書感想文コンクールなどの本としても参考にしてください。ホールに展示していない本も館内にありますので、気になった本があったら声をかけてください。

「何者」 朝井リョウ
「変身」 カフカ
「ボッコちゃん」 星新一
「羅生門・鼻」 芥川龍之介
「さよならの言い方なんて知らない。」 河野裕



「金閣寺」 三島 由紀夫
「青の数学」 王城 夕紀
「老人と海」 ヘミングウェイ
「明るい夜に出かけて」 佐藤 多佳子
「ミッキーマウスの憂鬱」 松岡 圭祐





6月のこよみから



◆ 小惑星探査機「はやぶさ」帰還（2010年6月13日）◆

2003年に打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ」が、小惑星イトカワに到着。観測した後、60億kmの旅を終えて、2010年地球に帰還しました。帰還までは燃料漏れやエンジン停止などの様々なトラブルから一人宇宙をさまようことになった時もありましたが、トラブルを克服し、7年ぶりの地球への帰還となりました。月以外の天体に着陸した探査機が帰還したのは世界初です。

下記のサイトや図書は「はやぶさ」の打ち上げから帰還するまでの話や映像などもみることができます。

【JAXA 小惑星探査機「はやぶさ」物語】 <https://spaceinfo.jaxa.jp/hayabusa/about/index.html>

(2022.6.1 確認)

【小惑星探査機 はやぶさの大冒険】

山根一眞 著 マガジンハウス 刊 2010年

※小惑星探査機……将来の本格的なサンプルリターン探査に必要な技術を実証するのが目的です。小惑星とは、太陽系の太陽および9つの惑星とそれぞれの衛星以外に存在している小さな星を指します

※60億km……地球の一周は約4万kmです。(地球何周分でしょう)

◆ サン＝テグジュペリ誕生（1900年6月29日）◆

フランスの作家で飛行士。代表作の「星の王子さま」は、テグジュペリがリビア砂漠に不時着した経験をもとに書かれたといわれています。この小説は日本人にとっても親しまれています。築高生のみなさんも読んだことがある人が多いかもしれません。箱根には「星の王子さまミュージアム」もありますよ。

(星の王子さま) から

「星があんなに美しいのも、目に見えない花が一つあるからなんだよ……」

「砂漠が美しいのは、どこかに井戸をかくしているからだよ……」

「たいせつなことはね、目にみえないんだよ……」

読んだことがある人も、もう一度読むと違う思いがうまれるかもしれません



サン＝テグジュペリ

本のリクエスト募集♪

あなたの読みたい本は図書館にありますか？



- ◆好きな作家の小説 ◆進路に関する本 ◆部活に関する本
- ◆趣味に関する本 ◆テレビで話題になっていた本
- ◆築高生のみなさんに読んでほしい本
- ◆笑える・泣ける・ミステリーが読みたいなど大きなくくりでも大丈夫。

図書館前にリクエスト用紙が置いてあります。記入して司書 佐藤にお渡しください！ 購入計画の参考にさせていただきます。(必ず購入できるわけではありません) 築館高校になくてもみなさんの手に希望の本が届けられるよう、公共図書館にあるか調べてお知らせします♪